

第3回 乳幼児の世界

八王子保育研究会 1987年

こどもとのふれあいを求めて

プロローグ

開催にあたって

昨今の、育児情報過多の時代に、真の乳幼児保育・教育は何であろうか？と思考し真摯に学習し研鑽していこうと、昭和60年に「八王子保育研究会」を発足し、はや2年がすぎました。その歳月の流れの中で、私達は様々なことを学びました。発足して3ヶ月にして八王子で初めての保育展を「乳幼児の世界」展と題し開催して以来、サマーセミナー等4度の自主事業を行なってもらいました。その間に、多くの方々から暖かい励ましの御言葉や御指導をいただき、感謝して居ります。今回、八王子駅ビル市民ホールにおいて第3回（乳幼児の世界）展 ・ ・ ・ 子供とのふれあいを求めて..... をタイトルに、保育展を開催することになりました。第1回“より賢い育児をするために”第2回“今、子供が求めているものは”をテーマに、各々大人の視点と子供の視点とで保育を考えてみましたが、今回第3回は大人と子供との両方の視点から“子供とのふれあいを求めて”をテーマと設定し、企画いたしました。乳幼児にとって、親と子の“ふれあい”、保育者と子供との“ふれあい”がいかに大切であるか。調査、研究していく中で、私達は改めて認識することになりました。諸々の分野・領域で構成され、広範多岐な乳幼児の問題を、集約することは至難な業です。また、安易にまとめることは、危険なことだとも考えます。本冊子の内容も、断定することは少なく、実践中途であり研究中端と自覚し考察や提言的な性格のものが多くなっております。変動する社会にあり、『子供とは・・・』『保育とは・・・』を皆様と共に考え学んでいく一助になれば幸甚です。次代を担う子供たちの幸せと希望を求めて『八王子保育研究会』はこれからも地道に歩んでまいりたいと思っております。

目次

- 第3回 『乳幼児の世界』展 開催に寄せて・・・・・・八王子市長 波多野 重雄
- 健康 『心身のふれあいで、健やかに』
- 音楽 『たのしくうたってあそぼう』
- 絵画 『絵との“ふれあい”を通して子供と“ふれあい”を！』
- 言語 『子供の言葉は、誰がつくるの？』
- 栄養 『“ふれあい”それは心の栄養です。』
- プレーコーナーであそぼう
- 絵本・紙芝居最多利用一覧表
- 八王子には、たくさんの保育園があります。

